

事業報告書  
(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

## 1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人社団 光陽会  
 ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )  
 ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人  
☐ 出資額限度法人 ☒ その他  
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用  
 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 兵庫県神戸市長田区大日丘町2丁目7番地  
 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 平成10年3月24日
- (4) 設立登記年月日 平成10年4月13日

## 2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種類	施設の名称	開設場所	許可病床数
介護老人保健施設	ヴィラ光陽	神戸市長田区大日丘町2丁目7番地	入所定員 100 名 通所定員 30 名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務)

種類又は事業名	実施場所	備考
なし		

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和3年5月25日 令和2年度 事業報告及び決算報告承認の件  
 令和3年8月3日 介護老人保健施設 ヴィラ光陽 管理者及び理事交代の件  
 令和4年3月22日 令和4年度 事業計画及び収支予算承認の件、  
 令和4年度 借入金の最高限度額決定の件  
 任期满了に伴う役員選任の件

- (4) 当該会計年度内に開設 (許可を含む) した主要な施設 なし
- (5) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容 なし

法人名 医療法人社団 光陽会

※医療法人整理番号 28218

所在地 兵庫県神戸市長田区大日丘町2丁目7番地

## 貸 借 対 照 表

(令和 4年 3月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	133,397	I 流 動 負 債	201,808
現金及び預金	34,336	支払手形	0
事業未収金	92,623	買掛金	74,068
有価証券		短期借入金	10,000
たな卸資産	3,458	未払金	16,524
前渡金		未払費用	29,502
前払費用	1,307	未払法人税等	1,022
繰延税金資産		未払消費税等	0
その他の流動資産	1,670	繰延税金負債	
II 固 定 資 産	626,346	前受金	
1 有 形 固 定 資 産	622,770	預り金	1,209
建物	380,118	前受収益	
構築物	579	賞与引当金	11,600
医療用器械備品	2,022	その他の流動負債	57,880
その他の器械備品	9,841	II 固 定 負 債	157,590
車両及び船舶	1,825	医療機関債	
土地	228,158	長期借入金	157,590
建設仮勘定		繰延税金負債	
その他の有形固定資産	224	その他の固定負債	
2 無 形 固 定 資 産	1,104	負債合計	359,398
借地権		純 資 産 の 部	
ソフトウェア	931	科 目	金 額
その他の無形固定資産	173	I 資 本 金	100,000
3 その他の資産	2,472	II 積 立 金	
有価証券		代替基金	
長期貸付金		繰越利益積立金	
保有医療機関債		III 評価・換算差額等	300,346
その他長期貸付金		その他有価証券評価差額金	
役員等長期貸付金		利益剰余金	300,346
長期前払費用	1,943	純 資 産 合 計	400,346
繰延税金資産		負債・純資産合計	759,744
その他の固定資産	528		
資 産 合 計	759,744		

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団 光陽会

※医療法人整理番号 28218

所在地 兵庫県神戸市長田区大日丘町2丁目7番地

## 損 益 計 算 書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		544,692
2 事業費用		
(1)事業費	519,908	
(2)本部費	0	
本来業務事業利益		24,783
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益	0	
2 事業費用	0	
附帯業務事業利益		0
C 収益業務事業損益		
1 事業収益	0	
2 事業費用	0	
収益業務事業利益		0
事業利益		24,783
II 事業外収益		
受取利息	1	
その他の事業外収益	21,644	
III 事業外費用		
支払利息	3,836	
その他の事業外費用	4,992	
経常利益		37,601
IV 特別利益		
固定資産売却益	308	
その他の特別利益	0	
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	98	
税引前当期純利益		37,811
法人税・住民税及び事業税	9,961	
法人税等調整額	0	
当期純利益		27,849

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

様式11-2

法人名 医療法人社団 光陽会  
所在地 兵庫県神戸市長田区大日丘町2丁目7番地

※医療法人整理番号 28218

財 産 目 録  
(令和 4年 3月 31日現在)

1. 資 産 額	759,744 千円
2. 負 債 額	359,398 千円
3. 純 資 産 額	400,346 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	133,397
B 固 定 資 産	626,347
C 資 産 合 計 (A + B)	759,744
D 負 債 合 計	359,398
E 純 資 産 (C - D)	400,346

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。  
千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。			
土 地	(■ 法人所有	□ 賃借	□ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(■ 法人所有	□ 賃借	□ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人社団 光陽会

※医療法人整理番号 28218

所在地 兵庫県神戸市長田区大日丘町2丁目7番地

## 関係事業者との取引の状況に関する報告書

## (1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内 容	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

## (2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注)
- 1 関係事業者ごとに記載すること。
  - 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。  
近親者である場合には続柄を記載する。
  - 3 次に定める取引については上記の注記を要しない。  
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて  
取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。  
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
  - 4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

## 監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 光陽会  
理事長 武久 洋三 殿

私（注1）は、医療法人社団光陽会の令和3会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

## 記

## 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年 5月 17日  
医療法人社団 光陽会  
監事 元木 昭治

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。